

学校コード F137110110310

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

意見伺い

注2

香川大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 (博士後期課程)

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人香川大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 医学部総務課

職名・氏名 課長補佐・土肥 光雄

電話番号 087-891-2007

(夜間) 087-891-2007

e-mail syokacho-m@kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

香川大学大学院医学系研究科

＜看護学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人香川大学

(2) 大学名

香川大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒761-0793
香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1
(〒760-8521
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(カケヒ ヨシユキ) 寛 善行 (平成29年10月)		
理事	(イマイダ カツミ) 今井田 克己 (平成31年4月)		
研究科長	(ウエダ ナツオ) 上田 夏生 (平成29年10月)	(ミキ タカノリ) 三木 崇範 (令和3年10月)	任期満了に伴い 令和3年10月1日交代 (4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学系研究科 看護学専攻 （博士後期課程） 博士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	3 年	2 人	0 人	6 人		【基礎となる学部等】 医学部看護学科 医学系研究科看護学専攻（博士前期課程） 14条特例の実施

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	2人 () []	人 () []	1.0 倍	一 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2 []	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2 []	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2 []	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2 []	() []			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		1.0				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	0 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	0 [-] (-)
4年次	/						/		/		- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)					- [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	2人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<香川大学大学院医学系研究科 看護学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	健康イノベーション概論	1前	1			2						2
	健康イノベーション研究方法論	1前	1			5						2
	医科学特論	1通		2								21
	希少糖科学特論	1通		1								9
小計(4科目)		-	2	3	0	7						33
専門科目	健康発達支援看護特講	1前		2		5						
	地域ケアシステム創造看護特講	1前		2		5						
	健康創造看護学演習	1後	4			10	4	1				
小計(3科目)		-	4	4	0	10	4	1				0
特別研究	健康創造看護学特別研究	1-2-3通	6			10	2	0				
	小計(1科目)	-	6	0	0	10	2	0				0
合計(8科目)		-	12	7	0	10	4	1				33
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位15単位以上(基盤科目の必修科目2単位、基盤科目の選択必修科目1単位以上、専門科目の必修科目4単位、専門科目の選択科目2単位以上、特別研究6単位)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、基盤科目の選択科目のうち、医科学特論、希少糖科学特論から1単位以上を選択必修とする。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	健康イノベーション概論	1前	1			2						2
	健康イノベーション研究方法論	1前	1			5						2
	医科学特論	1通		2								20
	希少糖科学特論	1通		1								9
小計(4科目)		-	2	3	0	7						32
専門科目	健康発達支援看護特講	1前		2		5						
	地域ケアシステム創造看護特講	1前		2		5						
	健康創造看護学演習	1後	4			10	3	1				
小計(3科目)		-	4	4	0	10	3	1				0
特別研究	健康創造看護学特別研究	1-2-3通	6			10	1	0				
	小計(1科目)	-	6	0	0	10	1	0				0
合計(8科目)		-	12	7	0	10	3	1				32
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位15単位以上(基盤科目の必修科目2単位、基盤科目の選択必修科目1単位以上、専門科目の必修科目4単位、専門科目の選択科目2単位以上、特別研究6単位)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、基盤科目の選択科目のうち、医科学特論、希少糖科学特論から1単位以上を選択必修とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・専任教員の就任辞退により、「健康創造看護学演習」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「健康創造看護学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「医科学特論」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	4 科目	0 科目	8 科目	4 科目 [0]	4 科目 [0]	0 科目 [0]	8 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{8} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	153,265㎡	0㎡	0㎡	153,265㎡				
	運動場用地	86,872㎡	0㎡	0㎡	86,872㎡				
	小 計	240,137㎡	0㎡	0㎡	240,137㎡				
	そ の 他	710,888㎡	0㎡	0㎡	710,888㎡				
	合 計	951,025㎡	0㎡	0㎡	951,025㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		171,450㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	171,450㎡ (0㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		13室	0室	2室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)			15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 ※博物館資産登録済の 標本数は524	
	医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)	849,404 [259,411] (850,737 [259,413])	25,650 [7,648] (25,650 [7,648])	26,386 [24,845] (26,386 [24,845])	8,667 (8,667)	0 (0)	1,246 (1,246)		
	計	849,404 [259,411] (850,737 [259,413])	25,650 [7,648] (25,650 [7,648])	26,386 [24,845] (26,386 [24,845])	8,667 (8,667)	0 (0)	1,246 (1,246)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		10,101㎡		811席		1,103,250冊			
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
		5,577㎡		運 動 場 5 面 テ ニ ス コ ー ト 14 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	香川大学						学生募集停止学科数	17	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学部	4	160	-	640	学士(教育学)(教養学)	1.03	1.04	-	平成15		
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士(教育学)	1.03	1.04	-	平成15	香川県高松市幸町1番1号	
人間発達環境課程	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
法学部(昼夜開講制)	4	160	3年次10	660	学士(法学)	0.99	1.00	-	平成15		
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.03	1.03	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0.40	0.50	-	平成15	同上	
経済学部(昼夜開講制)	4	250	3年次20	1,040	学士(経済学)	1.05	1.05	-	平成30		上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
経済学科(昼)	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科(昼)	4	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	学士(経済学)	1.05	1.06	-	平成30	同上	
(夜)		10	-	40		0.82	0.80	-	平成30	同上	
医学部	6	109	2年次5	679	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	平成15		
	4	80	-	330	学士(看護学)(臨床心理学)	1.04	1.06	-	平成15 平成30		
医学科	6	109	2年次5	679	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	平成15	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成25、30、令和2、4年度収容定員増による学年進行
看護学科	4	60	-	250	学士(看護学)	1.03	1.05	-	平成15	同上	令和4年度編入学定員変更による学年進行
臨床心理学科	4	20	-	80	学士(臨床心理学)	1.06	1.10	-	平成30	同上	
創造工学部	4	330	3年次20	1,360	学士(工学)	1.01	1.03	-	平成30		
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	学士(工学)	1.01	1.03	-	平成30	香川県高松市林町2217番地20	
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15		
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	香川県高松市林町2217番地20	平成30年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
材料創造工学科	4	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
農学部	4	150	-	600	学士(農学)	1.02	1.02	-	平成18		
応用生物科学科	4	150	-	600	学士(農学)	1.02	1.02	-	平成18	香川県木田郡三木町大字池戸2393番地	
大学全体(学部)	4	1,130	3年次50	4,630	-	1.02	1.03	-	-	-	
	6	109	2年次5	679	-	1.00	1.00	-	-	-	

法学研究科	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成15		
修士課程											
法学専攻	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	令和4年度より学生募集停止
経済学研究科	2	-	-	-	修士 (経済学)	-	-	-	平成15		
修士課程											
経済学専攻	2	-	-	-	修士 (経済学)	-	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	令和4年度より学生募集停止
創発科学研究科	2	130	-	130	修士 (教育学) (法学) (経済学) (工学) (危機管理学) (学術)	1.04	1.04	-	令和4		
修士課程											
創発科学専攻	2	130	-	130	修士 (教育学) (法学) (経済学) (工学) (危機管理学) (学術)	1.04	1.04	-	令和4	香川県高松市幸町1番1号 香川県高松市幸町2番1号 香川県高松市林町2217番地20	令和3年度事前相談 令和4年度設置
工学研究科											
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15		
安全システム建設工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	香川県高松市林町2217番地20	令和4年度より学生募集停止
信頼性情報システム工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	令和4年度より学生募集停止
知能機械システム工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	令和4年度より学生募集停止
材料創造工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	令和4年度より学生募集停止
博士課程	3	22	-	66	博士 (工学)	0.50	0.50	-	平成16		
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.60	0.60	-	平成16	同上	
信頼性情報システム工学専攻	3	7	-	21		0.23	0.14	-	平成16	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.60	0.60	-	平成16	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.66	0.80	-	平成16	同上	
医学系研究科											
修士課程	2	10	-	20	修士 (臨床心理学)	1.15	1.10	-	令和2		
臨床心理学専攻	2	10	-	20	修士 (臨床心理学)	1.15	1.10	-	令和2	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	
博士前期課程	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.62	0.50	-	平成15		
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.62	0.50	-	平成15	同上	
博士課程	4	30	-	120	博士 (医学)	1.07	1.16	-	平成28		
機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	-	平成15	同上	平成28年より学生募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	-	-	平成15	同上	平成28年より学生募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.07	1.16	-	平成28	同上	
博士後期課程	3	2	-	2	博士 (看護学)	1.00	1.00	-	令和4		
看護学専攻	3	2	-	2	博士 (看護学)	1.00	1.00	-	令和4	同上	令和2年度意見伺い 令和4年度設置

農学研究科	2	60	-	120	修士 (農学)	1.00	0.95	-	平成30		
修士課程											
応用生物・希少糖 科学専攻	2	60	-	120	修士 (農学)	1.00	0.95	-	平成30	香川県木田郡三 木町大字池戸 2393番地	
教育学研究科	2	20	-	40	教職修士 (専門職)	1.10	1.20	-	令和2		
専門職学位課程											
高度教職実践専攻	2	20	-	40	教職修士 (専門職)	1.10	1.20	-	令和2	香川県高松市幸 町1番1号	
地域マネジメント研 究科	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	1.19	1.13	-	平成16		
専門職学位課程											
地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	1.19	1.13	-	平成16	香川県高松市幸 町2番1号	
大学全体（大学院）	2	266	-	402	-	1.03	1.01	-	-	-	
	3	24	-	68	-	0.51	0.54	-	-	-	
	4	30	-	120	-	1.07	1.16	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<香川大学大学院医学系研究科 看護学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	塩田 敦子 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	塩田 敦子 <令和4年4月> 博士(医学)
		健康イノベーション研究方法論 健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康イノベーション研究方法論 健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	藤井 豊 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	藤井 豊 <令和4年4月> 博士(医学)
		健康イノベーション研究方法論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康イノベーション研究方法論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	前川 泰子 <令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	前川 泰子 <令和4年4月> 博士(工学)
		健康イノベーション概論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康イノベーション概論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	市原 多香子 <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	市原 多香子 <令和4年4月> 博士(保健学)
		健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	谷本 公重 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	谷本 公重 <令和4年4月> 博士(医学)
		健康イノベーション研究方法論 健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康イノベーション研究方法論 健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	川田 紀美子 <平成30年4月> 博士(保健学)	専	教授	川田 紀美子 <平成30年4月> 博士(保健学)
		健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	山本 美輪 <令和4年4月> 博士(看護学)	専	教授	山本 美輪 <令和4年4月> 博士(看護学)
		健康イノベーション研究方法論 健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康イノベーション研究方法論 健康発達支援看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	渡邊 久美 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	渡邊 久美 <令和4年4月> 博士(医学)
		健康イノベーション研究方法論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			健康イノベーション研究方法論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	教授	松本 啓子 <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	松本 啓子 <令和4年4月> 博士(保健学)
		地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究			地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	芳我 ちより ＜令和4年4月＞ 博士（医科学）
		健康イノベーション概論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	准教授	筒井 邦彦 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	准教授	西村 亜希子 ＜令和4年4月＞ 博士（人間健康科学）
		健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	准教授	野原 留美 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康創造看護学演習
専	准教授	辻 京子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康創造看護学演習
専	講師	金正 貴美 ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		健康創造看護学演習
兼任	教授	三木 崇範 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	荒木 伸一 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	山本 融 ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）
		医科学特論
兼任	教授	藤原 祐一郎 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	芳我 ちより ＜令和4年4月＞ 博士（医科学）
		健康イノベーション概論 地域ケアシステム創造看護特講 健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	准教授	西村 亜希子 ＜令和4年4月＞ 博士（人間健康科学）
		健康創造看護学演習 健康創造看護学特別研究
専	准教授	野原 留美 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康創造看護学演習
専	准教授	辻 京子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康創造看護学演習
専	講師	金正 貴美 ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		健康創造看護学演習
兼任	教授	三木 崇範 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	荒木 伸一 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	山本 融 ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）
		医科学特論
兼任	教授	藤原 祐一郎 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平野 勝也 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	西山 成 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	上野 正樹 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	星野 克明 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		医科学特論
兼任	教授	平尾 智広 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	竹崎 直子 ＜令和4年4月＞ Ph.D. (Genetics) (米国)
		医科学特論
兼任	教授	神鳥 成弘 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		医科学特論
兼任	教授	南野 哲男 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		希少糖科学特論
兼任	教授	大日 輝記 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	日下 隆 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論 希少糖科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平野 勝也 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	西山 成 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	上野 正樹 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	星野 克明 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		医科学特論
兼任	教授	平尾 智広 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	竹崎 直子 ＜令和4年4月＞ Ph.D. (Genetics) (米国)
		医科学特論
兼任	教授	神鳥 成弘 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		医科学特論
兼任	教授	南野 哲男 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		希少糖科学特論
兼任	教授	大日 輝記 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	日下 隆 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論 希少糖科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	杉元 幹史 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	鈴木 潔 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	星川 広史 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		希少糖科学特論
兼任	教授	村尾 孝児 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	藤村 和宏 ＜令和4年4月＞ 博士（商学）
		健康イノベーション概論
兼任	教授	石丸 伊知郎 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		健康イノベーション概論
兼任	教授	秋光 和也 ＜令和4年4月＞ Ph.D. (Botany and Plant Pathology) (米国)
		希少糖科学特論
兼任	准教授	新井 明治 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		希少糖科学特論
兼任	准教授	岡田 仁 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	准教授	宮下 武憲 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	杉元 幹史 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	鈴木 潔 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	星川 広史 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		希少糖科学特論
兼任	教授	村尾 孝児 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	教授	藤村 和宏 ＜令和4年4月＞ 博士（商学）
		健康イノベーション概論
兼任	教授	石丸 伊知郎 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		健康イノベーション概論
兼任	教授	秋光 和也 ＜令和4年4月＞ Ph.D. (Botany and Plant Pathology) (米国)
		希少糖科学特論
兼任	准教授	新井 明治 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		希少糖科学特論
兼任	准教授	
兼任	准教授	宮下 武憲 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川人（杉野本） 潤子 ＜令和4年4月＞ 博士（心理学）
		健康イノベーション研究方法論
兼任	准教授	Willey Ian David ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康イノベーション研究方法論
兼任	准教授	宇山 徹 ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）
		医科学特論
兼任	講師	小原 英幹 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	講師	吳 哲彦 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	非常勤教員	何森 健 ＜令和4年4月＞ 農学博士
		希少糖科学特論
兼任	非常勤教員	早川 茂 ＜令和4年4月＞ 農学博士
		希少糖科学特論
兼任	非常勤教員	徳田 雅明 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		希少糖科学特論
兼任	非常勤講師	渡邊 力太郎 ＜令和4年4月＞ 工学士
		希少糖科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	野口 修司 ＜令和4年4月＞ 博士（心理学）
		健康イノベーション研究方法論
兼任	准教授	Willey Ian David ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康イノベーション研究方法論
兼任	准教授	宇山 徹 ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）
		医科学特論
兼任	講師	小原 英幹 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	講師	吳 哲彦 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		医科学特論
兼任	非常勤教員	何森 健 ＜令和4年4月＞ 農学博士
		希少糖科学特論
兼任	非常勤教員	早川 茂 ＜令和4年4月＞ 農学博士
		希少糖科学特論
兼任	非常勤教員	徳田 雅明 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		希少糖科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	非常 勤教 員	山田 貴子 <令和4年4月> 環境人間学修士
					希少糖科学特論

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

専任教員の配置変更 令和4年4月1日 専任教員 筒井 邦彦准教授就任辞退（令和4年3月31日）のため、担当教員表から削除
兼任教員の配置変更 令和4年4月1日 兼任教員 岡田 仁准教授就任辞退（令和3年9月30日）のため、担当教員表から削除 令和4年4月1日 兼任教員 川人（杉野本） 潤子准教授育児休業のため、担当科目「健康イノベーション研究方法論」を野口 修司准教授に変更 令和4年4月1日 兼任非常勤教員 渡邊 力太郎教員就任辞退のため、担当科目「希少糖科学特論」を山田 貴子非常勤教員に変更

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
10	4	1	0	15	0	10	3	1	0	14	0
(10)	(3)	(1)	0	(14)	0						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
12	1	2				11	1	2			
(11)	(1)	(2)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
10	3	1	0	14	0	10	4	1	0	15	0
[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
11	1	2				12	1	2			
[Δ1]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{14}{15} = \boxed{93.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	筒井 邦彦	R4.3	必修	健康創造看護学演習	①	R4.3.31付け他大学教授就任のため	
				必修	健康創造看護学特別研究	①		
			合計 (D)		後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修		2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択		0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由		0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計		2 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし						
			合計 (F)		後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修		0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択		0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由		0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計		0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1	必修		2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
	選択		0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由		0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計		2 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{15} = 6.66\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>准教授が担当する予定であった科目は、現専任教員間で授業科目を担当しているため、学生の履修に関して、不利益は生じていない。また、学生への周知は、シラバス及びHPにて行っている。</p>
--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画

該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<香川大学大学院医学系研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; width: 30%; margin: auto; padding: 20px;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">該当なし</p> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 医学部教育センター FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 開催回数：年1回 令和4年2月28日開催 委員出席数9名／（11名）</p> <p>c 委員会の審議事項等 議題1 2022年度FD委員会委員について 議題2 2021年度FDおよび授業公開実施報告について 議題3 2022年度FD実施計画（年間スケジュール）について 議題4 新任教員研修プログラムについて 議題5 その他</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 【令和4年度予定FD】 ・CBTに関するFD ・CBT作問に関するワークショップ型FD ・チュートリアル・PBLチュートリアルFD ・看護学科入試に関するFD（年間2回実施予定） ・障害学生支援に関するFD ・医学教育ワークショップ ・授業公開『未定(医学科講義)』 ・授業公開『未定(医学科講義)』 ・授業公開『未定(医学科講義)』 ・授業公開『チュートリアル発表会(早期体験学習)』 ・授業公開『未定(看護学科講義)』 ・授業公開『未定(臨床心理学科講義)』 ・研究倫理研修会 ・海外留学報告会(年間2回実施予定) ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会(年間6回程度実施予定)</p> <p>b 実施方法 講演会方式・収録動画配信・e-learning</p>

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【令和3年度開催状況】

- ・ CBTに関するFD 3月18日 52人
- ・ CBT作問に関するワークショップ型FD 3月23日 47人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（2021年度 第1回） 5月10日～6月11日 346人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（2021年度 第2回） 6月15日～7月30日 287人
- ・ 医学教育ワークショップ：ウィズ・ポストコロナ時代の学習者評価のパラダイムシフト 11月11日 74人
- ・ 看護学科入試に関するFD 第1回 11月24日 25人
- ・ 障害学生支援に関するFD 12月15日 47人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（2021年度 第3回） 12月15日～1月21日 144人
- ・ 看護学科入試に関するFD 第2回 2月10日 26人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（2021年度 第4回） 2月7日～3月11日 109人
- ・ 授業公開『先輩の失敗から学ぶ行動科学とチーム医療(医2年 行動科学とチーム医療)』 6月2日 23人
- ・ 授業公開『脳実習（3）脳の内部構造観察-前額断と水平断-(医2年 解剖学I)』 6月22日 15人
- ・ 授業公開『チュートリアル発表会(医1年 早期体験学習)』 6月30日 24人
- ・ 授業公開『子どもを対象にした個別式知能検査(WISC-IV)の演習(臨3年 心理演習Ⅲ)』 7月15日 21人
- ・ 授業公開『急性状態にある成人患者の心理的反応の理解：ストレス・コーピング、危機モデル
(看2年 成人急性期・リハビリテーション援助論)』 10月11日 16人
- ・ 授業公開『診断と検査の基本(医3年 脳神経筋骨格ユニット)』 11月15日 24人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員の資質向上のため、毎年、年間を通じて多様な分野・領域からの講習会を開催している。いずれの講習会も授業担当教員としての責務の再確認に有益なだけでなく、医学教育の基盤を拡充させる新たな取り組みを啓発する内容である。今後も、医学教育の充実を重視したFDの開催計画に取り組むことを予定している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の終了毎に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果は教職員HPで公表しフィードバックしている。学生にも紙媒体で公表している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和4年4月に、看護学専攻博士後期課程が開設され、あらゆるライフステージにある人々の健康QOLの向上を目指し、健康に関連する学問分野との融合により看護を探究することで、生命・生活・人生に生じる様々な健康に関するイノベーションを起こすことに寄与し、高い倫理観・指導力をもつ看護実践者、教育・研究者を養成することを目的としている。

今年度は、2名（募集定員2名）が入学となり、入学時のガイダンスを行っている。また、指導教員及び副指導教員からは、研究・学習面及び生活面での相談・指導を行うこととしている。授業科目についても滞りなく実施しており、当初計画が順調に履行されている。

② 自己点検・評価報告書

令和4年度に大学機関別認証評価を受審予定である

a 公表（予定）時期

- ・大学機関別認証評価に合わせて公表する予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・上記のとおりである

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。